

# 内水面の環境保全と遊漁振興に関する研究 ―那珂川におけるアユ釣りによる経済波及効果― (平成 29 年度)

吉田 豊

## 要 約

県内の那珂川を訪れたアユ釣り遊漁者を対象としたアンケート調査から、アユ釣りがもたらす経済波及効果を明らかにした。

その結果、アユ釣り遊漁者は1回の釣行でおとりアユや仕掛け、飲食などで約 6,000 円を消費することが明らかとなった。さらに年間のアユ釣り遊漁者数を 20 万人(平成 25～29 年の平均)とした場合の経済波及効果は、県内全体で約 13 億円と推定された。また、那珂川で釣獲される天然アユがすべて放流魚に置き換わった場合は、遊漁者が約 30%減少し、その分経済波及効果が減少すると予測された。

本研究は(一財)東京水産振興会および(国研)水産研究・教育機構中央水産研究所「平成 29 年度内水面の環境保全と遊漁振興に関する研究」の一環として実施し、詳細な報告については(一財)東京水産振興会 HP ([http://www.suisan-shinkou.or.jp/promotion/pdf/inlandwater\\_report\\_2017.pdf](http://www.suisan-shinkou.or.jp/promotion/pdf/inlandwater_report_2017.pdf)) に掲載されている。

(指導環境室)